

きかいしまおのつ  
奄美喜界島小野津方言の談話資料\*

白田 理人

京都大学／日本学術振興会

## 1 はじめに

奄美喜界島方言(以下喜界島方言)は、鹿児島県大島郡喜界町(次頁地図参照<sup>1</sup>)で話されている、琉球諸語に属する方言である。琉球諸語が話される他の地域と同様、日本語へのシフトが進行しており、喜界島方言の話者はそのほとんどが日本語とのバイリンガルである。伝統的な方言は若い世代には継承されておらず、流暢な話者は主に50代以上に限られる。2013年7月31日現在の人口は町全体で7805人(小野津集落382人)である<sup>2</sup>が、年代別の人口からおおよそ半分以上が流暢な話者であると考えられる。喜界島には30余の集落があり、語彙面・音韻面・形態面に渡って集落差が見られる。特に、本発表が対象とする小野津集落(方言名 *unucu* [únùtsú])を含む島内北部の諸方言は、\*ki>tci や\*kjV>tçV(及び\*#kjV>#sV)といった\*kの歯擦音化の音変化が起きていない点<sup>3</sup>(岩倉1934, 平山ほか1966, 大野2003, 木部2011参照)、前舌母音とこれに先行する(頭子音としての)子音+jの連続(CjV<sub>[+front]</sub>)が許され、jを伴わない場合(CV<sub>[+front]</sub>)と区別される点<sup>4,5</sup>などの保持的特徴により、中南部の諸方言と区別される。以下、2節で本稿で用いる表記について述べ、3節で談話資料を示す。

## 2 本稿で用いる表記

次頁に小野津方言の音素目録と本稿で便宜的に用いる表記を示す。[ ]内は異音である。説明の便宜のため、音節構造も併せて示す。

以下補足的な説明を加える。無声閉鎖音には有気音(非喉頭化音)と無気音(喉頭化音)の対立が認められる<sup>6</sup>が、語幹初頭を除いては中和し、無気音が現れる。音節末子音C<sub>3</sub>には、後

\* 本研究は、平成24~26年度JSPS科研費24・6463「喜界島方言を中心とする琉球語の記述的・歴史的研究」の助成を一部受けたものである。

<sup>1</sup> 本稿では、国土地理院発行の地図データをもとにThomas Pellard氏が作成した地図を適宜加筆・編集して用いている。

<sup>2</sup> 喜界町役場発行の資料に基づく。

<sup>3</sup> 以下に発表者の調査に基づく小野津方言と上嘉鉄方言(喜界島南部)の対応語例を小野津/上嘉鉄の順で挙げる:[k<sup>ʔ</sup>iN]/[tçiN]“着物”, [k<sup>ʔ</sup>iimu]/[tçimu]“肝”, [k<sup>h</sup>iurasa]/[surasa]“美しい”, [k<sup>h</sup>aku]/[saku]“客”, “[k<sup>h</sup>ak<sup>ʔ</sup>a:ru:]/[k<sup>h</sup>atçanu:]書きながら”。

<sup>4</sup> Ex. *ami* [ʔam<sup>ʔ</sup>i] “雨”, *amji* [ʔam<sup>ʔ</sup>i] “網”, *amee* [ʔam<sup>ʔ</sup>e:] “雨は”, *amjee* [ʔam<sup>ʔ</sup>e:] “網は”(Cf. 上嘉鉄:*ami* [ʔam<sup>ʔ</sup>i] “雨、網”, *amee* [ʔam<sup>ʔ</sup>e:] “雨は、網は”)

<sup>5</sup> これは、先行研究の多く(平山ほか1966, 上村1972・1992, 中本1976, 松本2000, 狩俣2000, 大野2002・2003, 木部2012)で前舌母音 vs. 中舌母音の区別として記述されてきた。

<sup>6</sup> Ex. “来る-INF” *khjii* [k<sup>h</sup>i:], “切る-INF” *k'jii* [k<sup>ʔ</sup>i:], “昆布” *khubu* [k<sup>h</sup>ubu], “口” *k'uci* [k<sup>ʔ</sup>utçi]

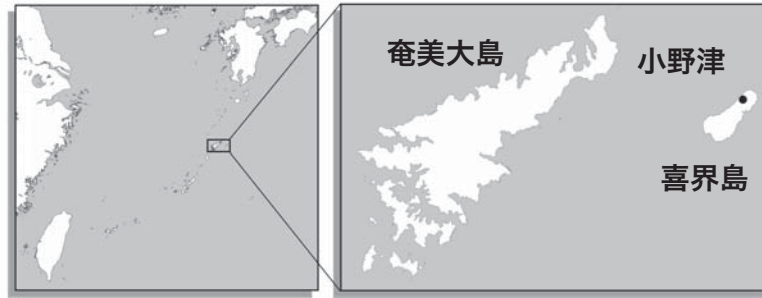


図1 小野津集落／喜界島の位置

続子音と同一調音点の阻害音あるいは鼻音が分布する。このうち語末に分布するのは鼻音のみである。本稿では音節末鼻音について形態素末では  $n$  を、それ以外では音声実現に応じて  $m, n, \eta$  を用いて表記することとする<sup>7</sup>。C<sub>1</sub>C<sub>2</sub> には同じ無声阻害音の連続のみが許される。G には  $j, w$  が分布し、それぞれ先行する C<sub>1,2</sub> を口蓋化／唇音化する<sup>8</sup>。(w の前の C には軟口蓋音のみが分布する)。頭子音 (及びその連続) について、前舌母音も含め、すべての母音の前で  $j$  の有無が弁別的である。前舌母音に先行する子音について、歯茎摩擦音  $s, z, c$  のみ口蓋化するものの、軟口蓋音は (日本語共通語や喜界島中南部方言と異なり) 前舌母音の前でも一般に口蓋化せず、また両唇音は (奥舌母音の前でのみならず) 前舌母音が後続する場合において軟口蓋化して実現する<sup>9</sup>。母音の長さについては、すべての母音において長短が弁別的であり、長母音は同じ母音の連続として解釈される。

- 子音：

- 閉鎖音: /p/[p~p<sup>2</sup>], /b/, /t/[t~t<sup>2</sup>], /t<sup>h</sup>/, /d/, /k/[k~k<sup>2</sup>], /k<sup>h</sup>/, /g/
- 破擦音: /ts/[ts~tɕ]
- 摩擦音: /ʃ/[ʃ~p<sup>h</sup>~p<sup>ʃ</sup>], /s/[s~ɕ], /z/[z~dz~z~dz], /h/
- 鼻音: /m/, /n/, /ŋ/
- 弾音: /r/
- 接近音: /w/, /j/

- 母音: /i/, /e/, /a/, /o/, /u/

- 表記:  $p'$  = 語頭単子音の /p/,  $th = /t<sup>h</sup>/$ ,  $t' =$  語頭単子音の /t/,  $kh = /k<sup>h</sup>/$ ,  $k' =$  語頭単子音の /k/,  $g = /g/$ ,  $c' =$  語頭単子音の /ts/,  $c =$  語中の /ts/,  $cc = /tts/$ ,  $f = /ʃ/$ ,  $zz = /dz/$ ,  $r = /r/$
- 音節構造: (C<sub>1</sub>)(C<sub>2</sub>)(G)V<sub>1</sub>(V<sub>2</sub>)(C<sub>3</sub>)

<sup>7</sup> Ex. *ammaa* [ʔamma:] “おばあさん、お母さん”, *jijga* [jijga] “男”, *kham-an-ba* [k<sup>h</sup>amamba] “食べる-NEG.COND (食べなければ)”, *k'jin=ŋa* [k<sup>ʔ</sup>ijŋa] “着物=NOM (着物が)”

<sup>8</sup> Ex. *hamja* [ham<sup>j</sup>a] “神宮 (かみや、地名)”, *khjoodee* [k<sup>h</sup>jo:de:] “兄弟”, *k'wee* [k<sup>ʔ</sup>we:] ~ [k<sup>ʔ</sup>we:] “鋤”, *duggwaddoo* [dugg<sup>ʰ</sup>addo:] ~ [dugg<sup>w</sup>addo:] “六月燈 (祭事の名前)”

<sup>9</sup> Ex. *thuzi* [t<sup>h</sup>uzi] “妻”, *sima* [ɕima] “島、集落”, *suuki* [su:ki] “お祭りのときのごちそう”, *sijanji* [ɕijanji] “白髪”, *jubi* [jub<sup>ʰ</sup>i] “ゆうべ”, *humi* [hum<sup>ʰ</sup>i] “米”

### 3 小野津方言の談話資料

本節で記述する談話は、2012年3月に収録された小野津集落出身・在住の80代男性 $\alpha$ 、80代女性 $\beta$ と60代女性 $\gamma$ の会話の一部である。主に、七夕の時に子どもたちが海で机を清める風習について、 $\gamma$ が $\alpha$ と $\beta$ に問いかけ、 $\alpha$ と $\beta$ が答えている。一行目に本稿が採用している表記法による音韻表記と形態素境界、二行目に形態素ごとのグロス、三行目に日本語訳例を記している<sup>10</sup>。グロスの略記については巻末を参照されたい。発話ターンの交替や言いよどみで発話が途切れた箇所は…で示している。<>内は日本語へのコードスイッチングが見られる部分である。@@@は笑い声、(...)は聞き取り不能箇所である。

(1)  $\alpha$  *wannaa sjoogakko=n dukji thanabata=njee bjenkjoo s-u-n sukudee*

1.EXCL.GEN 小学校=GEN 時 七夕=LOC.TOP 勉強 する-NPST-ADN 机

*muc-ci umji=kai oonjii si-inja*

持つ-SEQ 海=ALL 泳ぎ する-PURP

私たちの小学校の時、七夕には、勉強する机を持って海へ泳ぎに（行った）

(2)  $\alpha$  *sarumata t'icu na-ti sukudee=joba suna=zi ara-ti khaisui=zi <k'ijomjete>*

さるまた 一つ なる-SEQ 机=ACC 砂=INST 洗う-SEQ 海水=INST 清めて

*huri=joba <ukji=ni site> oonjii si-i*

それ=ACC 浮きに して 泳ぎ する-INF

さるまた一つになって、机を砂で洗って海水で清めて、それを浮きにして泳ぐんだ

(3)  $\gamma$  *oonjii si-i*

泳ぎ する-INF

泳ぐの

(4)  $\alpha$  *asisi bjenkjoo=ŋa diki-jun=nen <cukueo> sukudee=joba <daizinji daizinji*

そして 勉強=NOM できる-NPST=ように 机を 机=ACC 大事に 大事に

*mocikae...> muc-ci mudu-ti*

持ち帰... 持つ-SEQ 戻る-SEQ

そして、勉強ができるように、机を、大事に大事に持ち帰... 持って戻って

(5)  $\gamma$  *huri watana-n-kwaa=kai ik-ji=cci*

それ PLN(LIT.??-L-DIM)=ALL 行く -INF=QUOT

それ、ワタナクウアーへ行くって？

(6)  $\alpha$  *watana-n-kwaa*

PLN(LIT.??-L-DIM)

ワタナクウアー

<sup>10</sup> 形態論／統語論の概略的記述について、白田（2013）を参照されたい。

(7)  $\gamma$  *watana-n-kwaa*

PLN(LIT.??-L-DIM)

ワタナクウアー

(8)  $\gamma$  *duunaa jaa=nu saa=nu umji=kai*

REF.PL.GEN 家=GEN 下=GEN 海=ALL

自分たちの家の下の海へ

(9)  $\beta$  *saa=nu*

下=GEN

下の

(10)  $\alpha$  *umji=kai*

海=ALL

海へ

(11)  $\gamma$  [ $\beta$ ]+*baa=ja huma-n-dee*

PN+ 姉さん=TOP ここ-L-APPR

[ $\beta$ ] 姉さんはこちらへん?

(12)  $\beta$  *huma*

ここ

ここ

(13)  $\beta$  *saa*

下

下

(14)  $\gamma$  *wannaa assee ufataee watana-n-kwaa=nu*

1.EXCL じゃあ HN.TOP PLN(LIT.??-L-DIM)=GEN

私たちは、じゃあ、ウファタイはワタナクウアーの

(15)  $\alpha$  *watana-n-kwaa*

PLN(LIT.??-L-DIM)

ワタナクウアー

(16)  $\beta$  *wanna=ja ccu+ubukk-as-aa*

1.EXCL=TOP 他の子を水の中に押し込むいたずらっ子 (LIT. 人 + 溺れる-CAUS-AGE)

私たちは他の子を水の中に押し込むいたずらっ子 (だった)

(17)  $\beta$  *usunku+dumaii=zi*

PLN(?+ 港.CM)=LOC  
ウスクドゥマイーで

(18)  $\gamma$  *wanna=ja watana-n-kwaa*

1.EXCL=TOP PLN(LIT.??-L-DIM)  
私たちはワタナクウァー

(19)  $\beta$  *basu*

場所  
場所

(20)  $\gamma$  *assee huma=zi assee hinnja-n-cu*

じゃあ そこ=LOC じゃあ みんな (LIT. みんな-L-人)  
じゃあ、そこで、じゃあ、全員なの？

(21)  $\gamma$  *khjoodee*

きょうだい  
きょうだい (全員なの？)

(22)  $\gamma$  *t'innaa nen=doonja jo sukudee=ja*

一つずつ ない.NPST=SFP DSC 机=TOP  
一つずつないでしょうが、机は

(23)  $\beta$  *assi jo*

そう DSC  
そうよ

(24)  $\alpha$  *theegee a-su=doo*

大概 ある.NPST-NMLZ=SFP  
大概あるんだよ

(25)  $\gamma$  *theegee a-su=na*

大概 ある.NPST-NMLZ=YNQ  
大概あるの？

(26)  $\alpha$  *in*

RESP  
うん

- (27)  $\beta$  *anu wanna=ja wanna=ja jo soomin+bakuu=zi*  
 DSC 1.EXCL=TOP 1.EXCL=TOP DSC そうめん + 箱.CM=INST  
 私たちは、私たちはね、そうめん箱で
- (28)  $\beta$  *soomin+bakuu*  
 そうめん + 箱.CM  
 そうめん箱
- (29)  $\gamma$  *huri=joba muc-ci duunaa=zi*  
 それ=ACC 持つ-SEQ REF.PL=INST  
 それを持って自分たちで
- (30)  $\beta$  *in in muc-ci-zi jo*  
 RESP RESP 持つ-ていく-SEQ DSC  
 うんうん、持って行ってね
- (31)  $\gamma$  *asisikara suna=zi assi ara-i=ja*  
 それから 砂=INST こう 洗う-INF=SFP  
 それから砂でこう洗うの？
- (32)  $\alpha$  *in in suna=zi*  
 RESP RESP 砂=INST  
 うん 砂で
- (33)  $\beta$  *suna=zi k'jijum-ji*  
 砂=INST 清める-INF  
 砂で清めるの
- (34)  $\alpha$  *<k'jijomje jo>*  
 清め DSC  
 清めるんだよ
- (35)  $\alpha$  *ora*  
 DSC  
 ほら
- (36)  $\beta$  *gjenkji=zi jo*  
 元気=INST DSC  
 元気でね

- (37)  $\gamma$  *bjenkjoo diki-ta=ka*      *jaa* @@@  
 勉強      できる-PST=DUB DSC @@@  
 勉強できたかねえ
- (38)  $\beta$  *gjenkji=zi bjenkjoo dik-ju-roo*  
 元気=INST 勉強      できる-NPST-INFR  
 元気で勉強できるだろう
- (39)  $\alpha$  *sjuuzi=zi sumji-doo nuu-doo jungi-tun=karanji*  
 習字=INST 墨=APPR 何=APPR 汚れる-CONT.NPST=CSL  
 習字で墨やら何やら汚れているから
- (40)  $\alpha$  <*sunade sirozunade*>  
 砂で      白砂で  
 砂で、白砂で
- (41)  $\gamma$  *assi=na*  
 そう=YNQ  
 そうか
- (42)  $\beta$  *diki-timu*      *diki-ran-timu*      *diki-ju-n*      *niŋee=doo=cci*      *assi si-i*  
 できる-CONC      できる-NEG-CONC      できる-NPST-ADN      願い=SFP=QUOT      こう      する-INF  
*jo*  
 DSC  
 できてもできなくても、できる願いだよって、こうするのよ
- (43)  $\beta$  <*onegai*>  
 お願い  
 お願い
- (44)  $\gamma$  *assee*  
 じゃあ  
 じゃあ
- (45)  $\beta$  <*negai*>  
 お願い  
 お願い

- (46)  $\gamma$  *nuu=cci i-iba juta-sa-su=ka assee suu=ŋa fji-cju-n*  
 何=QUOT 言う-COND 良い-VLZ.NPST-NMLZ=DUB じゃあ 潮=NOM 引く-CONT.NPST-ADN  
*dukji=nji i-zi duunaa=zi*  
 時=LOC 行く-PST REF.PL=INCL  
 何て言えばいいのかのか、じゃあ潮が引いている時に行ったの？自分たちで
- (47)  $\gamma$  *kkwa-n-kjaa assi gaba ik-ji=ja*  
 子ども-L-PL こう たくさん 行く-INF=SFP  
 子供たちは、こう、たくさん行くの？
- (48)  $\alpha$  *in jaa ugii gaba-n-cu*  
 RESP DSC DSC たくさん-L-人  
 うん、それはもう大勢
- (49)  $\gamma$  *gaba-n-cju=wa*  
 たくさん-L-人=SFP  
 大勢？
- (50)  $\beta$  *fji-cu-n dukjee ik-an=nen=doowa*  
 引く-CONT.NPST-ADN 時.TOP 行く-NEG=ように=SFP  
 引いているときは行かないんだよ
- (51)  $\alpha$  *njaa fjiccii fjizjuu*  
 もう 一日 ずっと  
 もう、一日ずっと
- (52)  $\gamma$  *fji-iba ik-aa jaa*  
 干る-COND 行く-NEG DSC  
 干潮になれば行かないね
- (53)  $\beta$  *in jaa anu*  
 RESP DSC DSC  
 うん
- (54)  $\gamma$  *njaa joo+mjic-ii joo+mjicii=nji*  
 もう 少し + 満ちる-INF.CM 少し + 満ちる-INF.CM=LOC  
 もう満ちかけた時、満ちかけた時に
- (55)  $\beta$  *ufusu=ŋa i-ju-n dukji*  
 大潮=NOM 入る-NPST 時  
 大潮が入る時



- (56)  $\beta$  *ufusu=ŋa i-ju-n dukji unui anu zikan thu-ti ik-ju-su*  
 大潮=NOM 入る-NPST 時 その時 DSC 時間 取る-SEQ 行く-NPST-NMLZ  
 大潮が入る時、その時、時間を見計らって行くの
- (57)  $\gamma$  *assi suru-ti ik-ji dusi-n-kjaa=kara khjoodee=kara*  
 こう 揃う-SEQ 行く-INF 友達-L-PL=ABL きょうだい=ABL  
 こう、揃って行くの？ 友達たちもきょうだいも
- (58)  $\beta$  *njaa sakji zembu in jaa i-zi wanna=ja*  
 もう 先 全部 RESP DSC 行く-SEQ 1.EXCL=TOP  
 もう先に全部、うん、行って、私たちは
- (59)  $\alpha$  *in zembu*  
 RESP 全部  
 うん、全部
- (60)  $\beta$  *dusi-n-kjaa=tu*  
 友だち-L-PL=COM  
 友達たちと
- (61)  $\beta$  *njaa numjii k'wata+k'wata jo*  
 もう たくさん いっぱい DSC  
 もうたくさん、いっぱいだよ
- (62)  $\alpha$  *meemee i-zu-su jo*  
 めいめい 行く-CONT.NPST-NMLZ DSC  
 めいめい行っているのよ
- (63)  $\gamma$  *asisikara oonjii si-i=nati*  
 それから 泳ぎ する-INF=CSL  
 それから泳ぐから
- (64)  $\alpha$  *oonjii si-i*  
 泳ぎ する-INF  
 泳ぐんだ
- (65)  $\gamma$  *hun faku muc-ci assi ssi*  
 その箱 持つ-SEQ こうして  
 その箱を持ってこうして

- (66)  $\beta$  *asisikara isigakji=n wii=kara dossun=cici dondon unaju=mu jiqqa=mu dondon*  
 それから 石垣=GEN 上=ABL OMP=QUOT どんどん 女=も 男=も どんどん  
*thub-ji...*  
 とぶ-INF  
 それから石垣<sup>11</sup>の上からバシヤンて、どんどん、女も男もどんどん跳び..
- (67)  $\gamma$  (...)  
 (...)  
 (...)
- (68)  $\beta$  *anu thubjikum-ji*  
 DSC 跳び込む-INF  
 跳び込むの
- (69)  $\beta$  *suu=madi jo*  
 底=LMT DSC  
 底までよ
- (70)  $\alpha$  *mata oonjii s-u-n doo=ja hunu <njimjeetoruguraino> thaa-sa-n...*  
 DSC 泳ぎ する-NPST-ADN ところ=TOP DSC 二メートルぐらいの 高い-VLZ.NPST-ADN  
 また泳ぎをするところは二メートルぐらいの高い...
- (71)  $\gamma$  *watana-n-kwaa+ukjii=kai ik-ji*  
 PLN(LIT.??-L-DIM)+ 沖.CM=ALL 行く-INF  
 ワタナクウァー沖へ行くの？
- (72)  $\gamma$  *oonjii si-i=ja*  
 泳ぎ する-INF=TOP  
 泳ぐのは
- (73)  $\beta$  *k'uwa-sa-n doo=zi*  
 深い-VLZ.NPST-ADN ところ=LOC  
 深いところで
- (74)  $\alpha$  (...) *thun-zi uti*  
 (...) 跳ぶ-SEQ 落ちる-INF  
 (...) 跳んで落ちるんだ

<sup>11</sup> 海岸の崖の石のことを言い間違えたものと思われる。

- (75)  $\gamma$  *wannaa meebbaa ara watana-n-kwaa=kara watana-n-kwaa+ukjii=gari*  
 1.EXCL.GEN PLN.TOP DSC PLN(LIT.??-L-DIM)=ABL PLN(LIT.??-L-DIM)+ 沖.CM=LMT  
*ik-ji jo maru+isii=kara*  
 行く-INF DSC PLN(LIT. 丸い-石.CM)=ABL  
 私たちムエツバはね、ワタナクウァーからワタナクウァー沖まで行くのよ、マ  
 ルイシーから
- (76)  $\gamma$  *ama=gari ik-ji assee*  
 そこ=LMT 行く-INF じゃあ  
 あそこまで行くの、じゃあ
- (77)  $\alpha$  *ukjee njaa zjoozu=ŋa*  
 沖.TOP もう 上手=NOM  
 沖はもう上手 (な子) が
- (78)  $\gamma$  *ukji=garee*  
 沖=LMT.TOP  
 沖までは
- (79)  $\beta$  *zjoozu=ŋa ik-ji=doowa soo mannaka=n... mannaa=gari*  
 上手=.NOM 行く-INF=SFP ただ 真ん中=GEN 真ん中=LMT  
 上手 (な子) がいくんだよ、ただ真ん中の... 真ん中まで
- (80)  $\alpha$  *zjookjuusee zja jaa*  
 上級生 COP.NPST DSC  
 上級生だね
- (81)  $\gamma$  *ufuccju... ufuccju na-ti=kara jaa*  
 大人 大人 なる-SEQ=ABL DSC  
 大人になってからね
- (82)  $\alpha$  *watana-n-kwaa=ja mata sjosinsja*  
 PLN(LIT.??-L-DIM)=TOP また 初心者  
 ワタナクウァーはまた、初心者
- (83)  $\gamma$  *sjosinsja=ŋa u-i*  
 初心者=NOM いる-INF  
 初心者がいるの

- (84)  $\alpha$  *asisi mata namji=ŋa c'u-sa-n dukji=njee ufusu=nu dukji=njee*  
 そして また 波=NOM 強い-VLZ.NPST-ADN 時=LOC.TOP 大潮=GEN 時=LOC.TOP  
*<njimjeetoru sammjeeroru takai> isi=nu dan=kara...*  
 ニメートル 三メートル 高い 石=GEN 段=ABL  
 そしてまた、波が強い時には、大潮の時には、ニメートル、三メートル高い石の段か  
 ら...
- (85)  $\beta$  *t'oon=ci thub-ji*  
 OMP=QUOT とぶ-INF  
 トーンと跳ぶの
- (86)  $\alpha$  *<thobjikomji>*  
 跳び込み  
 跳び込み
- (87)  $\gamma$  *thubjiku-di*  
 跳び込む-SEQ  
 跳び込んで
- (88)  $\beta$  *thubikum-ji*  
 跳び込む-INF  
 跳び込むの
- (89)  $\gamma$  *asisi hun fakoo njaa ama ucii-tuk-ji ara-ti=kara*  
 そして その箱.TOP もう あそこ 置く-ておく-INF 洗う-SEQ=ABL  
 そしてその箱はもう、あそこ置いておくの？洗ってから
- (90)  $\alpha$  *in jaa*  
 RESP DSC  
 うん
- (91)  $\beta$  *isi=n wii=nji...*  
 石=GEN 上=LOC  
 石の上に...
- (92)  $\alpha$  *ara-ti...*  
 洗う-SEQ  
 洗って...
- (93)  $\gamma$  *haarak-as-i*  
 乾く-CAUS-INF  
 乾かすの

(94)  $\alpha$  *haarak-as-i*

乾く -CAUS-INF  
乾かすの

(95)  $\beta$  *in jaa*

RESP  
うん

(96)  $\beta$  *nagas-an=nen jo isi=n wii uci-tuk-ji=doowa*

流す-NEG.NPST=ように DSC 石=GEN 上 置く-ておく-INF=DSC  
流さないようにね、石の上置いておくのよ

(97)  $\gamma$  *aa hagee ora wanoo fazimi-ti k'ji-cjan=mun funtoo=nji*

INTJ INTJ DSC 1.SG.TOP 始める-SEQ 聞く -PST=FN 本当=LOC  
私は初めて聞いたもの、ほんとに

(98)  $\beta$  *<sangoisino uenji> wii=nji...*

珊瑚石の 上に 上=LOC  
珊瑚石の上に、上に...

(99)  $\alpha$  *haarak-jun=gari oonjii si-i+huri jo*

乾く -NPST=LMT 泳ぎ する-INF+ 惚れ DSC  
乾くまで夢中でおよぐんだよ

(100)  $\gamma$  *oonjii s-si=kara mudu-i*

泳ぎ する-SEQ=ABL 戻る-INF  
泳ぎをしてから戻るの

(101)  $\gamma$  *asisi una-n-kwaa maa wii=gari k'ji-ci=dooya*

そして女-L-子.TOP DSC 上=LMT 着る-SEQ=SFP  
それで女の子は、まあ上まで着てでしょ

(102)  $\gamma$  *sjacu k'ji-ci...*

シャツ 着る-SEQ  
シャツを着て...

(103)  $\beta$  *k'jin+mama=jowa*

服 + まま=SFP  
服のままよ

(104)  $\beta$  *khantamfuku+mama=jowa*

簡単服 + まま=SFP  
簡単服のままよ

(105)  $\alpha$  *unajoo mukasi=nu appappaa jo*

女.TOP 昔=GEN アッパッパー DSC  
女は昔のアッパッパーだよ

(106)  $\beta$  *hagee appappaa=jowa*

INTJ アッパッパー=SFP  
ああ、アッパッパーよ

(107)  $\beta$  *khantamfuku k'ji-ci=doowa*

簡単服 着る-SEQ=SFP  
簡単服着てだよ

(108)  $\gamma$  *maa wanna=mu assi a-tan=nati*

DSC 1.EXCL=も そう COP-PST=CSL  
まあ私たちもそうだったから

(109)  $\beta$  *hagee*

INTJ  
ああ

(110)  $\alpha$  *hasisi*

そして  
そして

(111)  $\beta$  *ubus-sa*

重い-NPST  
重い

(112)  $\beta$  *ajja-ju-n dukjee jo njaa suu k'un-di gaccui gjii+gji jo*

上がる-NPST-ADN 時.TOP DSC もう 潮 含む-SEQ DSC OMP DSC  
上がる時はね、潮含んで、もう、ずっしりなのよ<sup>12</sup>

(113)  $\gamma$  *huri nannen=bee=kara s-u-ta=ka*

それ 何年=LMT=ABL する-IPFV-PST=DUB  
それ何年ごろからしていたかな

<sup>12</sup> *gjii+gji* は通常、背負った荷物が重いときに用いる表現である。

- (114)  $\gamma$  *nannen sjoogakkoo=nu nannen=kara s-u-ta=ka* *jo*  
 何年 小学校=GEN 何年=ABL する-IPFV-PST=DUB DSC  
 何年、小学校の何年からしていたかね
- (115)  $\beta$  *hagee nuu nannen=dukuru njaa ina-sa-i=n=kara* *jara*  
 INTJ DSC 何年=どころ もう小さい-VLZ-時=DAT=ABL DSC  
 何年どころか、小さい頃からだよ
- (116)  $\alpha$  *gakkoo ik-a-n* *ccu=mu mazii=nji oonjii si-i* *jo*  
 学校 行く-NEG.NPST-ADN 人=も 一緒=LOC 泳ぎ する-INF DSC  
 学校へ行かない人も一緒に泳ぎをするのよ
- (117)  $\gamma$  *app-ji app-ji*  
 遊ぶ-INF 遊ぶ-INF  
 遊んで
- (118)  $\beta$  *in jaa*  
 RESP DSC  
 うん
- (119)  $\beta$  *fjizjuu s-u-su=doo*  
 ずっと する-NPST-NMLZ=SFP  
 ずっとするのよ
- (120)  $\gamma$  *asisikara*  
 それから  
 それから
- (121)  $\alpha$  *thanabata=n khuroo ac-cja-soo* *<acuikara>*  
 七夕=GEN 頃.TOP 暑い-VLZ.NPST-CSL 暑いから  
 七夕のころは暑いから
- (122)  $\gamma$  *manacu=nati*  
 真夏=CSL  
 真夏だから
- (123)  $\gamma$  *asisiriba c'juugakkoo ik-iba njaa si-ran=zjaroo*  
 そうすると 中学校 行く ĩ<sub>j</sub>ŔCOND もう する-NEG.NPST=INFR  
 そうすると、中学校行くともうしないでしょ

(124)  $\beta$  *oonjii=na*

泳ぎ=YNQ

泳ぎのこと？

(125)  $\gamma$  *a-raa*                    *hun sukudee+ara-i jo*

COP-NEG.NPST その机 + 洗う.INF DSC

いいえ、その、机洗いよ

(126)  $\alpha$  *njaa huree*      *si-raa*

もう それ.TOP する-NEG.NPST

もうそれはしない

(127)  $\beta$  *njaa huree*      *thanabata=nu fjii=nu icinjici=dakje jo*

もう それ.TOP 七夕=GEN 日=GEN 一日=LMT DSC

もうそれは七夕の日の一日だけよ

(128)  $\gamma$  *sjoogakkoo*

小学校

小学校？

(129)  $\alpha$  *sjoogakkoo*

小学校

小学校

(130)  $\gamma$  *dakara sjoogakkoo=nu...=bee zja*                    *jaa*

だから 小学校=GEN=LMT COP.NPST DSC

だから小学校の... だけだね

(131)  $\alpha$  *sjoogakkoo=nu dukji=nji*

小学校=GEN 時=LOC

小学校のときに

(132)  $\gamma$  *k'jittu jaa*

きっと DSC

きっとね

(133)  $\beta$  *in sjoogakkoo*

RESP 小学校

うん、小学校



(134)  $\gamma$  *huree njaa mjimun a-ta*

それ.TOP もう 見もの COP-PST  
それはもう見ものだった

(135)  $\beta$  *thanabata=nu icinjici=dakje=doo*

七夕の 一日=LMT=SFP  
七夕の一日だけだよ

(136)  $\beta$  *fjiccii*

一日  
一日

(137)  $\gamma$  *njaa numjii zja jaa watana-n-kwaa=ja assee*

もう たくさん COP.NPST DSC PLN(LIT.??-L-DIM)=TOP じゃあ  
もうたくさんだね、ワタナクウァーは、じゃあ

(138)  $\gamma$  *k'wacja+k'wacja*

OMP  
満杯

(139)  $\beta$  *hagee k'wacja+k'wacja=jowa*

INTJ OMP=SFP  
ああ、満杯だよ

(140)  $\alpha$  *hasisi mata meerabi-n-kjaa jo*

そしてまた 若い娘-L-APPR.TOP DSC  
そしてまた若い娘なんかは

(141)  $\beta$  *asisikara*

それから  
それから

(142)  $\beta$  *jiŋŋa=ŋa usikki=doowa*

男=NOM 押さえつける.INF=SFP  
男の子が（いたずらで海の中に）押さえつけるのよ

(143)  $\alpha$  *njaa zjuuhakkuizjoo=nu meerabi-n-kjaa hamaci (...) jugoobasii=nu k'uwazuimo=nu*

もう 十八九以上=GEN 若い娘-L-APPR.TOP 頭 (...) クワズイモ=GEN クワズイモ=GEN  
*faa=joba jo =zi hamaci k'uc-ci nur-as-an=nen*  
葉=ACC DSC =INST 頭 括る-SEQ 濡らす-NEG.NPST=ように  
もう十八、九以上の若い娘なんかは頭...、クワズイモの、クワズイモの葉をね、(葉)  
で頭を括って濡らさないように

(144)  $\gamma$  *an gukji=zi assee huma=nji k'ubb-ji=ja*

あの 茎=INST じゃあ ここ=LOC 括る-INF=SFP  
あの茎で?じゃあここに結ぶの?

(145)  $\alpha$  *aai huma=nji hamaci <thaorude simerunojo>*

RESP ここ=LOC 頭 タオルで 締めるのよ  
いや、ここに頭をタオルで締めるのよ

(146)  $\gamma$  *thaoru=zi=ja*

タオル=INST=SFP  
タオルで?

(147)  $\gamma$  *jugoo=nu faa=zi=ja*

クワズイモ=GEN 葉=INST=SFP  
クワズイモの葉っぱで?

(148)  $\alpha$  *jugoo=nu faa=joba mata thaoru=nessan mun=zi k'uc-ci*

クワズイモ=GEN 葉=ACC また タオル=みたいなもの=INST 括る-SEQ  
クワズイモの葉っぱをまた、タオルみtainなので縛って

(149)  $\beta$  *wannaa dukjee jugoo=zi=garee k'ubb-an-ti*

1.EXCL.GEN 時.TOP クワズイモ=INST=LMT.TOP 括る-NEG-PST  
私たちの時はクワズイモでまでは縛らなかった

(150)  $\beta$  *aree ja mojas=du mojas=du wii=ja habb-as-u-tan=doowa*

あれ.TOP DSC もやし=FOC もやし=FOC 上=TOP 被る-CAUS-PST-SFP  
あれはね、もやしに上は被せていたよ

(151)  $\beta$  *mojasi urus-ee jo siju+zuna=n naa=nji huree uru-cja=ija jo*

もやし 蒔く-INF.TOP DSC 白+砂=GEN 中=LOC それ.TOP 蒔く-PST=ように DSC  
*miicjaa=njee k'ubb-aa*

額=LOC.TOP 括る-NEG.NPST

もやし蒔くのはね、白砂の中に蒔いたがね、額には括らない

(152)  $\beta$  *hirozi+njiisan=nu dukjee k'uc-cja jaa*

PN +兄さん=GEN 時.TOP 括る-PST DSC  
廣次兄さんの時は括ったんだね

(153)  $\alpha$  *assee*

じゃあ

じゃあ

(154)  $\gamma$  *meebba=ŋa k'ubb-ju-ta-su*

PLN=NOM 括る-IPFV-PST-NMLZ

ムエーツバが括っていたの

グロス

ABL	ablative	奪格	L	linker	リンカー
ACC	accusative	対格	LMT	limitative	限界格
ADN	adnominal	連体	LOC	locative	処格
AGE	agentive	動作主	NEG	negative	否定
ALL	allative	方向角	NMLZ	nominalizer	名詞化
APPR	approximative	曖昧	NOM	nominative	主格
CAUS	causative	使役	NPST	nonpast	非過去
CM	compoundmarker	複合語標識	OMP	onomatopoeia	オノマトペ
COM	comitative	共格	PL	plural	複数
COND	conditional	条件	PLN	placename	地名
CONT	continual	継続	PN	personalname	人名
COP	copula	コピュラ	PST	past	過去
CSL	causal	理由	PTCT	particle	助詞
CONC	concessive	譲歩	PURP	purposive	目的
DIM	diminutive	指小	QUOT	quotative	引用
DSC	discoursemarker	談話標識	REF	reflective	再帰
DUB	dubitative	疑念	RESP	response	応答表現
EXCL	exclusiveplural	除外的複数	SEQ	sequential	継起
FN	formalnoun	形式名詞	SFP	sentencefinalparticle	文末助詞
FOC	focus	焦点	SFS	sentencefinalsuffix	文末接辞
GEN	genitive	属格	SG	singular	単数
HN	housename	屋号	TOP	topic	主題
INCL	inclusiveplural	包括的複数	VLZ	verbalizer	動詞化
INF	infinitive	不定形	YNQ	yes-noquestion	諾否疑問
INFR	inferential	推量	+	複合・重複境界	
INST	instrumental	具格	=	接語境界	
INTJ	interjection	間投詞	-	接辞境界	
IPFV	imperfective	未完了	??	不明	

参考文献

- 岩倉市郎 (1934) 「喜界語音韻概説」『方言』4(10): 12-23.
- 上村幸雄 (1972) 「琉球方言入門」『言語生活』251: 20-37.
- \_\_\_\_\_ (1992) 「琉球列島の言語 (総説)」亀井孝・河野六郎・千野栄一 (編) 『言語学大辞典世界言語編下 2』771-814. 東京: 三省堂.
- 大野眞男 (2002) 「奄美方言における中舌母音の歴史的重層性」『国語研究』41: 78-69.
- \_\_\_\_\_ (2003) 「北奄美周辺方言の音韻の特徴」『岩手大学教育学部研究年報』63: 51-70.
- 狩俣繁久 (2000) 「奄美沖縄方言群における沖永良部方言の位置づけ」『日本東洋文化論集』6: 43-69.
- 木部暢子 (2011) 「喜界島方言の音韻」『国立国語研究所共同研究報告 11-01 消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究 喜界島方言調査報告書』12-50. 東京: 国立国語研究所.
- \_\_\_\_\_ (2012) 「奄美喜界島方言の母音について」『国語研プロジェクトレビュー』3(1):3-14.
- 白田理人 (2013) 「奄美語喜界島小野津方言の談話資料」田窪行則 (編) 『琉球列島の言語と文化: その記録と継承』くろしお出版.
- 中本正智 (1976) 『琉球方言の音韻』東京: 法政大学出版局.
- 平山輝男・大島一郎・中本正智 (1966) 『琉球方言の総合的研究』東京: 明治書院.
- 松本幹男 (2000) 「沖永良部島方言と喜界島方言における中舌母音について」『語学研究』95: 169-173.